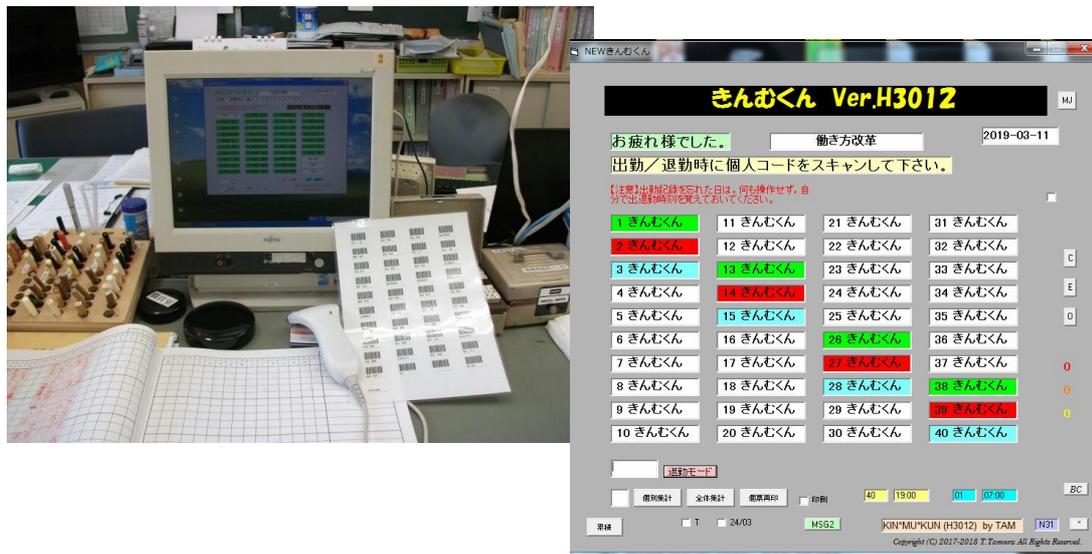


# 在校時間管理システム 「きんむくん」

田村 俊之（茨城県古河市立総和北中学校）

【R1.07】



## 【全ての教職員が実感・体感できる『校務の効率化』】

働き方改革が叫ばれる昨今、学校現場での働き過ぎにも注目が集まっています。学校における働き方改革に係る緊急提言でも、筆頭に『「勤務時間」を意識した働き方を進めること』と記されています。提言を受けて、急速に勤務時間を記録する動きが進んでいることと思いますが、各先生方に、帳簿への記入や帳票への手入力を強いたのでは、業務改善の視点に逆行することにもなりかねず、後からまとめて記録するなど正確さにも疑問が残ってしまいます。提言にもありますように、様々なICT機器の導入も考えられます。もちろん有効ではありますが、導入の際にそれなりの費用がかかったり、セットアップがマニアックだったり、何より、集計に手間がかかったりと課題が無いわけではありません。

そこで、タイトルにもありますテーマのもと、バーコードを活用した在校時間記録・集計システムを開発した次第です。

このシステムを常設して使うことにより、出退勤時に各1回、個人バーコードを「ピッ」とするだけ・わずか1秒たらずの負担で正確に記録できるようになります。さらに、集計もほぼワンタッチ。課題の精査・対応に、より時間をかけることができます。管理職サイドにもメリットがあります。しかも、使用するPCのスペックは低くてOK。PC室や職員室の片隅にある、使わなくなったPCの再活用にもうってつけです！

何よりも、先生方に帳票を還元することにより「自分の勤務実態に正面から向き合う」ことができ、個々の働き方改革への意識付けにつながる効果が期待できます。

○必要なもの 専用に使えらるPCがあれば、2のバーコードリーダーを用意するだけ！

- 1 **PC一式**（性能は低くても可。常時電源を入れておくことが推奨されるため、タフなものがよい。集計までする場合、PCにエクセルがインストールされ、プリンタの接続が必要。）
- 2 **バーコードリーダー**（ハンディタイプ）  
\*例えばネット上で「バーコードリーダー」で検索をかけ、最初の頃に出てくる3000円位のもので十分。（開発に用いている「CCD-700」を推奨します。）
- 3 **バーコードシート** \*システムから氏名入りで印刷できます。
- 4 **システム一式**（ソフトウェア・帳票類）  
kinmukun.exe 記録システムプログラム 他  
通常版は40名対応（60名、100名対応版もあり）

<できること>



**勤務時間個票**

2019 年 氏名 **働方 改車**  
[ 3 月分 ]

日	曜	出勤時刻	～	退勤時刻	勤務時間外の 係内在後時間	休憩	御用勤務 (内務)	(参考) 御用外在後時間	
1	金	7:37		21:18	5:11				
2	土	6:51	休	17:44	10:53				
3	日	7:06	休	17:47	10:41		○ 10:41	0:00	
4	月	7:49		20:26	4:07				
5	火	20:26							
6	水	7:41		19:58	3:47				
7	木								
8	金	7:42		20:33	4:21				
9	土	7:13	休	17:24	10:11		○ 10:11	0:00	
10	日		休						
11	月	7:42		20:51	13:09				
12	火	7:40		22:03	5:53				
30	土		休						
31	日		休						
勤務時間外の在後時間の合計					<b>68:13</b>	0:00	0:00	2:05:2	0:00
<b>47:21</b>									

【基本機能】

○教職員が**出・退勤時に自分のバーコードを“ピッ”と読み込む**と、出・退勤時刻が記録され、出勤者は緑・退勤者は赤で表示されます。**先生方の操作はこれだけです！**。出勤簿の近くに設置するのが理想的です。（表紙・上の写真参照）

○翌月初めに、ほぼワンタッチで、個別の集計ができ、右上のような「在校時間報告書（個票）」と右の全員分をまとめた「集計表」等が自動的にできあがります。

**勤務時間等集計表**      3月分      働方 改車

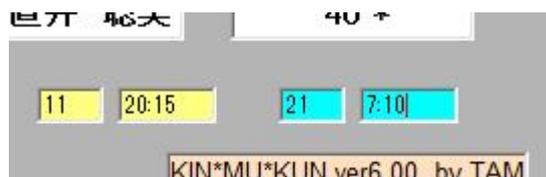
報告を要する職員の数    28 人

番号	報告	職員名	勤務時間外の係内 在後時間合計	休日等の御用 勤務従事時間	御用を除いた 在後時間
1	○	総北1	0:00		0:00
2	○	総北2	31:19		31:19
3	○	総北3	34:36		34:36
4	○	総北4	25:08		25:08
5		総北5*			37:06
6	○	総北6	43:11	6:26	36:45
7	○	総北7	57:38	0:00	57:38
8	○	総北8	56:09	6:26	49:43
9	○	総北9	43:01	0:00	43:01
10		総北10*			30:47
11	○	総北11	0:00	0:00	0:00
12	○	総北12	61:39	6:21	55:18

☆ここからは、初版完成後十有余年の間に**追加された機能**をご紹介します。（多くがユーザの皆様からのご要望を反映したものです。）

①**毎日の解・施錠者情報の表示**

- ・画面の下方に、右図のように
  - ①左側に昨日の最終退勤者（＝施錠者）
  - ②右側に今朝の第一出勤者（＝解錠者）



の教員番号とその時間が表示されます。防火（当直）日誌の記入の参考にできます。月ごとに、上記の2者（施錠者・解錠者）の一覧が出力（印刷）できる別プログラムも用意してあります。

## ② 遡ったデータの表示

前日以前に遡って、各先生方の退勤時間と超過時間の目安が色別

( \* 赤は概ね3時間、黄色は2時間の超過)で表示できます。データを確認しながら、個別に、より具体的なアドバイスを与えることが可能になります。ある学校の校長先生の「前の日の退勤時間すぐ分かるとアドバイスしやすいんだが・・・」とのつぶやきをお聞きして追加しました。

1 @@ 17:25	11 @@ 19:38	21 @@ 17:20	31 @@ 17:06
2 @@ 20:08	12 @@ 20:48	22 @@ 19:06	32 @@ 00:00
3 @@ 17:35	13 @@ 00:00	23 @@ 17:03	33 @@ 19:55
4 @@ 17:34	14 @@ 16:55	24 @@ 18:52	34 @@ 17:34
5 @@ 16:58	15 @@ 17:22	25 @@ 18:41	35 @@ 17:43
6 @@ 16:44	16 @@ 20:13	26 @@ 17:32	36 @@ 18:35

## ③ 流れるメッセージ表示機

先生方にお知らせしたい事項やその日の予定を、流れるメッセージで表示できます。JRの駅の案内表示をご想像ください。(次の写真参照) これは、開発者が(電車通勤もしていた時期に) 駅で思いつきました!

## ④ 累積超過時数表示

②の機能と似ていますが、こちらは月初めからの累積超過時数の目安が表示できます。①の機能と併せて、さらに具体的なアドバイスを与えることが可能になります。\*実際は 概ね50時間超えは黄色、80時間超えはオレンジ、100時間超えは赤色の背景となります。

1 @@ 25	11 @@ 26	21 @@ 12	31 * 0
2 @@ 55	12 @@ 108	22 @@ 79	32 * 0
3 @@ 74	13 @@ 66	23 @@ 96	33 * 0

## ⑤ バーコード印字作成

システム本体から職員名入りのバーコードシートを作成・印字できます。当初は、汎用バーコードに、氏名はゴム印等(サイズが不揃いの場合が多い!)を押して処理してもらっていました。ビジュアル的に美しく運用したいという多くの先生からの要望で実現しました。

## ⑥ 中学校・部活対応

③の機能で作成できる「部活用バーコード」を黄色の用紙に印刷し、「(休日)部活動で在校した場合は、黄色を使ってください」とします。そうすると、集計時に、部活で在校した先生の個票には該当日に「部活動」欄に自動で「○」がつき、集計結果が下部に表示されます。(総時間に対する内数)そして、一覧集計時には「休日等の部活動等従事時間」の欄に、反映し、さらに、報告書式の時数分布表に反映します。

この機能は、中学校の教頭先生からのご要望で実現しました。

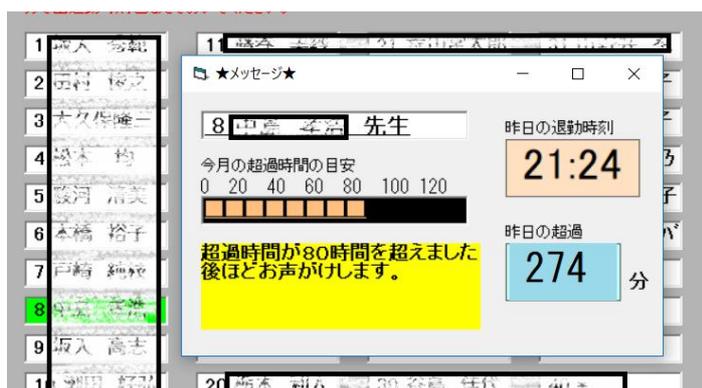
## ⑦ 累積一覧作成

毎月の超過勤務時間が累積され、一覧にできます。色別で表示され、月ごとの増減や傾向を見ることができます。

## ⑧個別メッセージ表示機能【NEW】

これまでの機能は、結果を主に管理側が活用するものでした。そこで、各先生方に即時にフィードバックできるように、記録時に、前日までの勤務状況が表示される機能を設けました。一定時間を超えると、個別にメッセージが表示されます。

これも、多くの先生からの強いご要望で実現しました。



## ◎充実したユーティリティソフト

- ・【開発鋭集計システム】日にちごとに、第一出勤者・最終退勤者の一覧を作成することができます。
- ・【管理者用修正システム】【個人用修正システム】・・・「ピッ」を忘れてしまった時の修正が迅速にでき、より正確な記録が期待できます。

きんむくん開発秘話・・・きんむくんは、平成18年に誕生しました。当時は、開発者は一教員。「働き改革」を考えるまでには至りませんでした。平成26年、管理職になってから、次のような記事を目にし、涙を流さずにはいられませんでした。万が一の時には、このような二次的な悲劇を起こさないためにも、このきんむくんが、役に立ってくれば幸いと考え、管理職の立場から、鋭意改良を加えてきました。そして、現在に至っています。

先生方が健康で元気よく子供たちに向かえ、「万が一」を起こさないために役立ってほしいという願いであることは言うまでもありません。

### 「パパを返して！」

昨年夏、A先生（当時40代前半）は、生まれてくるわが子の顔を見ることもなく、脳出血で亡くなりました。

当時、長子は2歳、妻のお腹の子は6ヶ月でした。A先生は、土日の部活動指導も含め、長時間労働があたり前となっていました。現在、仲間が公務災害申請にむけて勤務の実態を調べていますが、とても時間がかかっています。

なぜなら、この学校には、タイムカードも、ICカードもなく、教職員が何時間働いたか、その記録が存在していないからです・・・。

**【茨城県外で活用を希望する場合】**システムは基本的に無償で提供させていただきます。現バージョンは、かなり安定度も高く、マニュアルも完備しています。ある程度コンピュータに関する知識をお持ちであれば、問題なく運用が可能です。そこで、可能であれば、学校単位ではなく、教育委員会あるいは教頭会等单位で、担当者（基本操作の相談に対応できる先生）を決めた上で、専用アドレスにメールでお問い合わせください。（本務に支障が出ます。お電話での問い合わせはご遠慮ください。）同一教育委員会内の学校間では、システムの複製を行っていただいて結構です。しかしながら、いわゆるフリーソフトとは一線を画しています。ユーザー登録を必須としております。この点をご理解の上お使いください。開発者責任を果たすため、定期的な情報提供をさせていただきます。 ※詳しくはメール返信でお知らせします。

開発者 古河市立総和北中学校 田村 俊之  
kinmu\_kun@yahoo.co.jp